

令和7年度事業報告

令和7年は、韓国に関しては、日韓国交正常化60周年の節目の年であり、官民双方でさまざまな交流事業が実施され、日韓友好の機運が高まった年となった。令和7年中の日韓双方の人的往来が1300万人と過去最高を記録し、特に韓国からのインバウンド旅行者は約950万人となるなど、文化・政治・経済の各面で結びつきが一層強まったものと感じられる。

中国においては、東日本大震災後の本県を含む10都県産の食品輸入規制が依然として継続されるなど厳しい状況が続いているが、日本にとって中国は依然として最大の貿易相手国であり、多くの日系企業が進出している重要な市場のひとつである。

こうしたなかにおいて、当協会の主な事業として、宮城県の経済の更なる成長や発展に向け、ソウル事務所及び大連事務所において、現地の経済に関する情報収集や分析を行うとともに、県産品の販路開拓支援や観光客誘致推進、SNS等を利用した宮城県の魅力の発信に取り組んだ。

1 海外事務所運営事業

(1) ソウル事務所の運営事業

イ 情報収集・発信

コロナ禍で実施してきた非対面での情報収集も継続的に実施しながら、各種会議等への出席や官公庁、経済団体、企業への訪問など韓国経済の情報収集活動をより積極的に行った。また、河北新報に対する寄稿等による県民に向けた情報発信のほか、各種問合せ対応等を通じ、県内企業等や韓国国内への情報提供を行った。

① 情報収集

- | | |
|----------|--|
| a 会議への出席 | 日本貿易振興機構（JETRO）ソウル事務所主催日本投資セミナー等 |
| b 官公庁等訪問 | 在韓日本国大使館、日本政府観光局（JNTO）ソウル事務所、自治体国際化協会（CLAIR）ソウル事務所、在ソウル日本自治体事務所等 |
| c 経済団体訪問 | JETROソウル事務所、韓日経済協会等 |
| d 企業訪問等 | アジアナ航空ソウル支店、日本酒輸入商社各社、旅行会社各社、在韓日本企業等 |

② 情報発信

- | | |
|--|-------|
| a 宮城県ソウル事務所 Facebook・Instagram への観光情報等掲載 | 計123回 |
| b 河北新報「海外通信」への寄稿 | 計6回 |
| c 宮城県の観光情報等の提供 | 随時 |

ロ 県内企業等の海外活動支援

県内事業者の韓国市場におけるPR活動等に対し、営業同行、韓国企業に対する情報提供、商談等の斡旋仲介や販売促進支援を行った。

- | |
|--------------------------------------|
| a ソウルサケフェスティバルに参加する県内酒蔵への支援（5月） |
| b 県内蔵元のソウル営業の同行支援（6月） |
| c ソウル市内での県内日本酒プロモーションイベントの実施支援（6,7月） |
| d 仙台商工会議所青年部の訪韓研修の実施支援（7月） |
| e 韓国半導体展示会での県内金融機関と連携した投資情報の発信（8月） |

f 韓国スタートアップイベントでの宮城県エコシステムの紹介（12月）

ハ 宮城県のPR活動

各種イベントをより積極的に開催・参加するとともに、広告記事掲載等の可能な手段を活用し、宮城県観光・経済のPR活動を展開した。また、震災からの復興状況や、原発事故風評払拭に向けた情報発信を行った。

① イベントの開催及び参加

- a ソウルサケフェスティバル（ソウル市）（5月23日～24日：ブース出展）
- b 中韓三国協力事務局主催日中韓協力の日（ソウル市）（5月30日：資料出展）
- c 日韓国交正常化60周年記念レセプション（ソウル市）（6月：ブース出展）
- d ユニバーサルミュージック主催J-POPイベント（ソウル市）（9月18日～21日：ブース出展）
- e 日韓交流おまつり in ソウル（ソウル市）（10月12日：ブース出展）
- f 南道国際美食産業博覧会（木浦市）（10月1日～26日：資料出展）
- g 済州オルレウオーキングフェスティバル（済州市）（11月5日～8日：ブース出展）
- h 天皇誕生日祝賀レセプション（済州市）（1月27日：ブース出展）
- i 天皇誕生日祝賀レセプション（ソウル市）（2月3日：ブース出展）
- j 天皇誕生日祝賀レセプション（釜山市）（2月11日：ブース出展）

② 復興情報の発信活動

- a ソウル市サンミョン大学での講義における復興情報発信及び同学生による被災地復興支援活動に関する調査の実施支援（5月）
- b 江原特別自治道カンウォン・ウォンジュ大学授業での復興情報発信（2月）

ニ 交流事業への支援等

韓国企業関係者の日本企業研修の斡旋や自治体間の交流に係る相談・支援などを始め、学生らが行う日韓文化交流への支援を展開した。

- a ソウル市サンミョン大学での日韓学生交流授業での講義（9月）
- b 韓日産業・技術協力財団の県内工場視察研修（9月～11月、全3回）
- c ウソン情報大学日本外食調理学部を対象とした日本酒講義・試飲会の実施（12月）
- d 県内私立高校と韓国の高校とのスポーツ交流の実施を支援（1月）

ホ その他

県議会議員による韓国自治体視察の現地調整業務及び随行業務（8月）

(2) 大連事務所の運営事業

イ 情報収集・発信

中国国内で開催された博覧会やレセプション、各種誘客イベントに県ブースを出展したほか、官公庁その他関係機関への訪問等を通じて、中国市場等に関する情報収集活動を行った。

令和7年度は、アフターコロナの訪日観光客の回復が着実に進んでいる状況を受けて、中国版SNS「微博（ウェイボー）」の活用を強化したほか、近年若年層を中心にユーザーが増加している「小紅書（レッド）」に新たにアカウントを開設し、中国国内に向けた宮城県の情報を発信した。また、季節

に合わせた観光スポットの紹介等を行うとともに、イベント等に県ブースを出展した際にフォロワー向けのノベルティ配布などの取り組みを行い、2媒体合わせて約5,300人程度のフォロワーの純増に繋がった。

① 情報収集

a 会議等への出席

日本貿易振興機構（JETRO）大連事務所をはじめ、経済団体や民間コンサルティング企業等が行う各種セミナー・研修会等

b 官公庁訪問等

大連市、遼寧省及び吉林省等の中国東北部の各地方政府並びに在瀋陽日本国領事館等

c 経済団体訪問等

中国国際貿易促進委員会、日本貿易振興機構（JETRO）大連事務所、大連市中日経済合作交流協会、三亜市日本ビジネスインキュベーションセンター

d 企業訪問等（オンラインによる会議を含む）

本県の大連進出企業、中国航空会社、中国旅行会社、中国企業及び現地日系企業

② 情報発信

a SNS（微博（ウェイボー）及び小紅書（レッド））を活用した宮城県に関連する情報の配信

b 中国国内情勢や法改正の情報、展示会開催情報などの宮城県等への提供

c 中国人インフルエンサーによる県観光PR動画の制作

ロ 県内企業等の海外活動支援

県内企業等からの要請に応じ、現地企業等の紹介や助言を実施した。

① 中国国内での活動に対する支援

博覧会等への企業出展支援、民間団体の交流活動支援、企業資料等の中国語翻訳などを行った。

② 現地企業等への県内企業等の紹介

中国企業への県内企業紹介、県内企業への中国での営業先紹介等を行った。

ハ 観光客誘致推進

中国各地で行われた旅行博やレセプション等に県ブースを出展して観光情報等を発信したほか、旅行会社等を訪問して情報提供や意見交換を実施するとともに、微博（ウェイボー）や小紅書（レッド）などのSNSを活用した観光情報発信を実施した。

ニ 宮城県のPR活動

宮城県の魅力を周知するため、イベントへの参加等を通じた資料配布や、SNSの活用、旅行会社への訪問等による宮城県のPR活動を展開した。

① イベントへの参加

a 大連アカシア祭り（開催都市：大連市）（5月17日～18日：ブース出展）

b 遼寧国際友好都市大会（開催都市：瀋陽市）（6月12日～13日：ブース出展）

- c 中国・北東アジア博覧会（開催都市：長春市）（8月27日～31日：ブース出展）
- d JAL七タイイベント（開催都市：大連市）（8月29日）
- e 広東国際旅産業博覧会（開催都市：広州市）（9月12日～14日：ブース出展）
- f 大連日本商品展覧会（開催都市：大連市）（10月24日～26日：ブース出展）
- g JNTO主催ネットワーキングイベント（開催都市：広州市）（11月8日）
- h 天皇誕生日祝賀レセプション（開催都市：大連市）（3月6日：ブース出展）
- i 天皇誕生日祝賀レセプション（開催都市：広州市）（3月10日：ブース出展）
- j 天皇誕生日祝賀レセプション（開催都市：瀋陽市）（3月18日：ブース出展）
- k 天皇誕生日祝賀レセプション（開催都市：重慶市）（3月23日：ブース出展）

ホ 交流事業等への支援

① 県事業への支援

資料の翻訳、イベント時における通訳、事業計画立案への支援

② その他

大連宮城県人会の活動支援や七十七銀行上海駐在員事務所等が実施する事業への支援

へ 現地企業による県内拠点開設への支援

大連市の木材関連企業と県内の木材関連企業のビジネスマッチングを令和5年度から継続的に実施しているところ、大連市の企業が今後の取引拡大等を見据えて日本国内に活動拠点を設ける計画を有しているとの情報を得て令和6年度以降県内への拠点開設について継続的に支援し、令和7年度には法人登記を完了するなど拠点開設に向けた支援を完了させた。

拠点開設後、同社は県産木材の中国への輸出に向けた可能性を模索しつつ、仙台火力発電所で使用する木材ペレットの中国からの輸入業務に取り組んでいるとのことであり、特に前者については必要に応じて助言等を行なった。

2 海外との経済交流支援事業

宮城県や関係機関・団体と連携を図りながら、県内企業の国際ビジネス推進の取組を支援した。

(1) 海外ビジネスに関する相談・助言

県内企業からの海外ビジネスに関する相談を受け、宮城県とともに助言を行った。

(2) その他

海外ビジネスに関する情報を、宮城県と連携して「みやぎGBメール」として、県内企業に配信した。

3 その他事業

行政機関・公的団体等からの業務受託

イ 宮城オルレ等韓国プロモーション業務

宮城県からの受託事業として、県内や宮城オルレへの韓国人観光客を誘致するため、在韓のイベントでのダイレクトPRやSNSを使った情報発信、韓国国内旅行会社エージェント等に関する情報収集や、日本に向けた韓国国内関連報道の翻訳配信、宮城オルレツアー一造成に向けた観光会社への相談援助等を行った。

① 韓国観光プロモーション業務

- a 韓国旅行会社役員・エージェント等への情報収集 (計 80 回)
- b 韓国内旅行・航空業界関係報道の翻訳配信 (計 27 回)
- c 現地での観光や日本関係イベントにおいて宮城県の観光PRを実施
- d インセンティブ提供による現地旅行会社の旅行商品造成支援 (約 600 泊)
- e 現地インフルエンサーと連携した観光PR
- f 県内宿泊施設の訪韓営業活動へのアテンド支援
- g 現地旅行会社との宮城県旅行商品TVショッピングの実施 (約 400 泊) (3 月)
- h 情報発信SNSチャンネル (facebook、Instagram) による発信

② 宮城オルレ韓国プロモーション業務

- a 済州オルレ協議会との連絡及び意見交換
- b 県内市町村のオルレ担当者が行う訪韓セールスコールのアテンド業務 (5 月)
- c オルレカンセステーション開所レセプションでの 宮城オルレのPR (11 月)
- d 旅行会社等への新コースオープンなどオルレ情報の随時提供

ロ 中国観光プロモーション業務

宮城県からの受託事業として、中国人観光客を誘致するため、各種商談会への参加や展示会等への出展を通じて宮城県の観光資源に関するPR、情報発信、現地消費者ニーズの把握及び情報フィードバック等を行ったほか、中国各地の旅行会社を訪問して宮城県の観光資源に関するPR及び旅行商品の造成・販売状況等に関する情報収集を行なった。

また、県が公式アカウントを開設しているSNSに多数のフォロワーを有する中国人インフルエンサーが県内の観光地等を紹介する内容の動画を制作する事業を実施した。

① 中国国内で開催される観光イベント等への対応

- a 商談会参加・展示会出展、宮城県が参加する観光イベント等への実施協力 (9 件)
- b 東北観光推進機構主催オンラインセミナー (4 件)
- c JNTO 主催ネットワーキングイベント (11 月)

② WEB、SNS等の媒体を使用した観光情報の発信

微博 (ウェイボー) 及び小紅書 (レッド) による観光情報、PR動画の発信

ハ スモールスタート・テストマーケティング事業

宮城県からの受託事業として、海外事務所において、現地市場動向やニーズに沿った各種事業を現地状況に応じて柔軟に展開し、県内企業及び県産品海外販路開拓の側面支援を行った。

① 韓国の日本酒輸入商社及び県内蔵元を対象とした日本酒海外販路拡大支援

- a 韓国人インフルエンサーを招請した県内酒蔵・ワイナリー等の見学や日本食体験の実施
- b インフルエンサーと連携した宮城の酒発信イベントの開催 (10 月～12 月、計 3 回)

② SNSやオンラインツールを活用した県内企業の側面支援

- a 県内企業と中国現地企業とのオンライン商談の実施

- b 中国国内の商品展示会での宮城県産工芸品のPR
- c 県内企業の紹介資料制作（翻訳）及びPR機会の創出に向けた調整

ニ 令和7年度北東アジア博覧会出展等業務

宮城県からの受託事業として、宮城県との友好県省である中国吉林省が開催する「第15回中国—北東アジア博覧会」において宮城県ブースを出展し、吉林省との友好関係発展を図るとともに、県のPRを行い、県の認知度向上及び交流促進を図った。

ホ 日韓知事会議・海外プロモーションに係る現地支援業務

宮城県からの受託事業として、令和7年11月11日（火）～13日（木）に韓国で行われた日韓知事会議及び海外プロモーションイベントに出席した宮城県知事の現地での移動や通訳に関する支援、プロモーションイベントでの県産日本酒のPRを行った。

へ 工芸品欧州見本市視察支援業務

宮城県からの発注を受け、宮城県職員が実施するメゾン・エ・オブジェ 2026年1月展視察の入場パス等の手配を行った。

4 運営体制の充実を図るための取組

公益法人会計に係る知識の習得、相談機能の活用等により、当協会の健全な運営を図った。